

地域戦略人材塾 第4回「ナッジを活用した自治体の未来（講義編）」

（講師：津田広和先生）

コメントシート

（皆さまからのご質問は特になく、コメントは以下の通りです）

- ・ ナッジを活用することで、施策などの幅が広がると感じた。
- ・ 物事をシンプルに考えることが大事ということがわかった。
- ・ ナッジを行う上で、抑えておくべきポイントを知ることができた。
- ・ 「表明する考えや意図、態度と実際の行動には乖離がある」というのが、改めて言われると、確かにそうだと思った。次週の課題に取り組みながら考えたい。
- ・ ナッジを上手く活用できれば進めたい事業にうまく誘導できると思いました。市民向けに案内や周知をする必要のある事業全てに活用できると思いました。
- ・ 現状を変えていきたい思いはありながら、周囲の人たちのモチベーションであったり、これまでの慣例等により、なかなかいい動きができないと感じることが多くあります。ナッジで考える要素を用いると、そういった現状を少しずつでも変えていけるのではないかとこの発見がありました。
- ・ 難しいことのように考えていたが、事業を展開するうえで実際に考えていることがナッジなんだなあと感じることができました。今後、より深く考えてみたいと思いました。すべての事業にナッジを活かしていきたいと思います。
- ・ 少し環境を変えることで人が望ましい行動をするようになるというナッジの考え方が、従来の事業を大きく変えることなく少しの工夫で利用率や実施率の上昇に繋がることを気づかせていただきました。
横浜市さんの特定保健指導利用促進の事例を当市でも参考できるのではないかと気づくことができました。
- ・ ナッジを業務に活かすためのフレームワークを知れてよかった。
- ・ ナッジと言う言葉を知ってから、普段の生活にナッジが多く取り入れられていることに気づきました。

行政からの郵便物をどうやって気づいてもらうかという点で、分かりやすく、目につきやすい工夫をするだけ、効果が得られるので、取り入れていきたいです。

- ・ナッジを行う際に EAST の考えのもと行うことが必要であること。
- ・例題にもあったように、本市においても口座振替や検診受診のための通知にナッジを活用出来ないか考える機会になった

以上です。どうもありがとうございました。

地域戦略人材塾 事務局